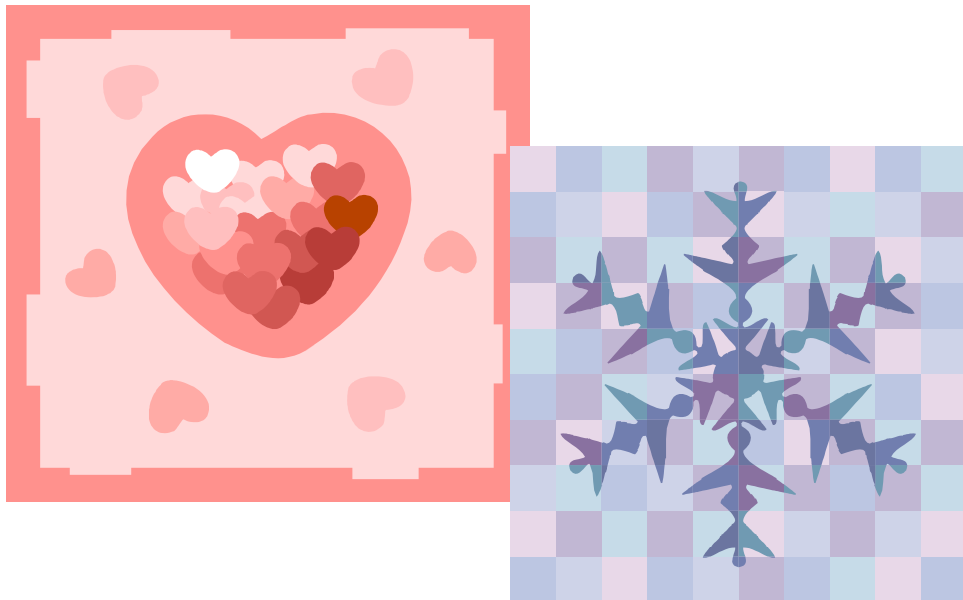


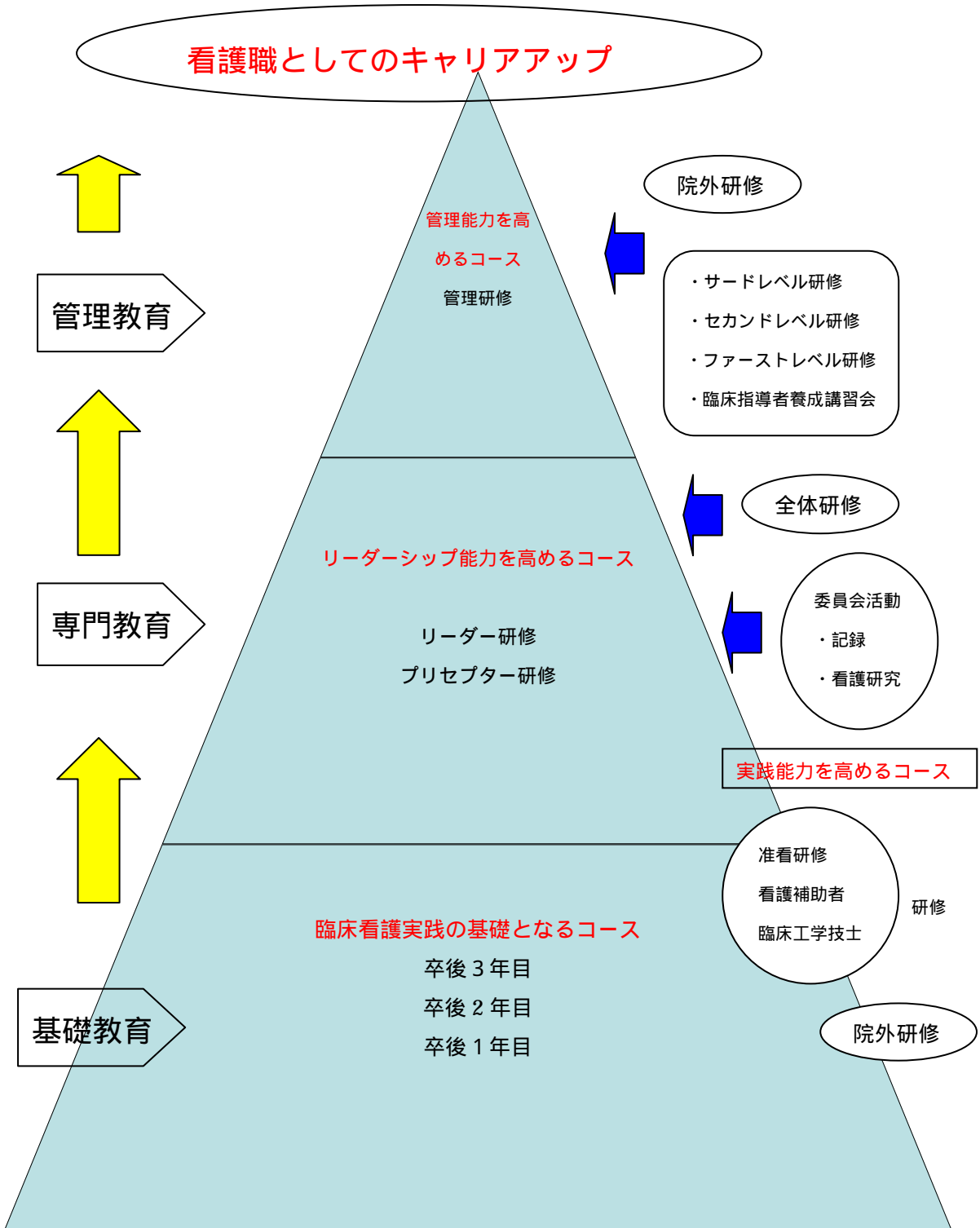
看護部の現任教育システム



財団法人積善会附属

十全総合病院

4. 教育プログラムシステム



5. 現任教育の実際

1) 各コースのねらい

(1) 基礎教育；基礎コース

卒後1～3年目を対象としたコース。成長過程に合わせた教育内容を通して、主体的に学ぶ姿勢を養うことをねらいとする。新卒者以外の採用者に対しては、本人のレディネスを考慮しコースを決定する。

基礎コース

卒後1年目を対象とする。新卒看護師が臨床実践の場において原則を理解し、基本的な知識、技術を習得することにより、患者に安全な看護が提供できるように支援する。また、チームメンバーの一員として役割を果たす能力を養う。

基礎コース

卒後2年目を対象とする。習得した知識、技術を活用し、受け持ち看護師として自立できるよう支援する。また、メンバーシップが発揮できる能力を養う。

基礎コース

卒後3年目を対象とする。アセスメント能力を高め、個別的で継続した看護が提供できるよう支援する。また、メンバーシップを発揮しながらリーダーとしての役割を果たすことができる能力を養う。

(2) 専門教育；リーダーコース

リーダーとしての役割を理解し、リーダーシップ能力を養うことをねらいとする。

プリセプター研修

卒後3年目以上で、今年度及び今後プリセプターを担当する看護師を対象とする。プリセプティイーに対して教育的に関わることができ、また自律した看護師として成長できるよう支援する。

リーダー研修

卒後4年目以上の看護師を対象に任意で選出する。リーダーとしての立場を自覚し、リーダーシップ能力を発揮できるよう支援する。

(3) 管理教育；管理コース

看護師長、主任を対象とする。病院組織における看護管理の基本理念を理解し、管理能力を養うことをねらいとする。

(4) 専門教育；実践コース

准看護師、看護補助者、臨床工学技士を対象としたコース。看護チームの中での各々の役割を認識し、適切な看護を行う能力を養うことをねらいとする。

准看護師研修

チームの中での役割が遂行できる能力を養う。

看護補助者研修

看護補助者として必要な知識、技術、態度を養う。又、チームの一員としての役割を果たす能力を養う。

臨床工学技士

生命維持監視装置の動向等に関する情報収集や、関連分野の知識等を取得することにより、専門的知識及び技術の向上を支援する。又、医療チームの中で役割が発揮できる能力を養う。

2) 全体研修のねらい

看護職員全体を対象とする。看護に対する知識、技術を習得し、看護実践に役立てることをねらいとする。専門職業人としての意識を高め、自己啓発の姿勢を養う。

3) 院外研修のねらい

看護協会主催の研修会や講演会、各種学会、研究会等に積極的に参加することを支援する。新しい知識を習得し、看護の質の向上を図る。

・能力評価

1 . 個人評価表

- 1) 看護職員は個人評価表を使用し、知識、技術、態度を評価する。
- 2) 該当者は、規律性、責任性、積極性、協調性の各項目において自己評価を行い、看護師長は他者評価を行う。
- 3) 評価時期は、2回/年(5月、11月)に行う。
- 4) 個人評価表は、人事考課に反映する。

2 . 管理者(師長、主任)能力評価表

- 1) 看護師長及び主任は、管理者能力評価表を使用し、管理能力を評価する。
- 2) 該当者は、看護実践能力・人間関係能力・マネジメント能力・教育研究能力を評価する。
- 3) 該当者は自己評価を行い、看護部長は他者評価を行う。
- 4) 評価時期は、2回/年(5月、11月)に行う。

3 . 職員個人票

- 1) 看護職員は、自己のプロフィール、委員の経験及び院内外の研修、資格等について記載する。
- 2) 勤務移動時は、配置部署に個人が持参する。